

『算数科』 模擬授業課題

(1) 日 時 令和6年10月〇日 第2校時(45分)

(2) 場 所 第5学年1組教室

(3) 学年・学級 第5学年1組(28名)

使用教科書 わくわく算数5年(啓林館)

(4) 単 元 名 面積

(5) 指導する児童の状況

【既習事項】

- ・垂直と平行の定義の理解やかき方とともに、平行四辺形や台形、ひし形の定義、性質等を学習し、対角線についても理解している。
- ・図形の面積は単位正方形(1cm^2 , 1m^2)の数を数えると求めることができることを理解し、正方形や長方形の面積の公式を導いている。
- ・正方形や二等辺三角形を真ん中で二つに切ると、形も大きさも同じ図形ができることを経験している。
- ・L字型、凹字型などの長方形を組み合わせた図形の面積を、長方形に分けたり、ないところをあとみたりして公式を使った面積の求め方を学んでいる。

【単元の目標】

- (1) 底辺と高さの意味や公式について理解し、三角形、平行四辺形、台形、ひし形などの面積を求めることができる。
(知識及び技能)
- (2) 既習の面積の求め方を基にして、三角形、平行四辺形、台形、ひし形などの構成要素や性質に着目し、面積の求め方を考えたり、求積方法をふり返って公式を導いたりすることができる。
(思考力、判断力、表現力等)
- (3) 面積を求めたり平面図形の見方・考え方を深めたりするとともに、生活や学習に活用しようとしていく。
(学びに向かう力、人間性等)

【評価規準】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 必要な部分の長さを用いることで、三角形、平行四辺形、ひし形、台形の面積は計算によって求めることができることを理解している。 ② 三角形、平行四辺形、ひし形、台形の面積を公式を用いて求めることができる。	① 三角形、平行四辺形、ひし形、台形の面積の求め方を、求積可能な図形の面積の求め方を基に考えている。 ② 見いだした求積方法や式表現を振り返り、簡潔かつ的確な表現を見いだしている。	① 求積可能な図形に帰着させて考えると面積を求めることができるというよさに気づき、三角形、平行四辺形、ひし形、台形などの面積を求めようとしている。 ② 見いだした求積方法や式表現を振り返り、簡潔かつ的確な表現に高めようとしている。

【児童の状況】

- ・平面図形の面積については、長方形、正方形の面積を全員の児童が公式を使って求めることができる。
- ・単位となる面積を決めて、その何個分あるかを求めることで広さを数値化して表すことや公式化することを学習しているが、順序立てて説明できる児童は約7割程度である。
- ・ 1cm^2 をもとに、複合図形の面積を求める活動を通して、面積の保存性、等積変形について学習しているが、平行線の性質から辺の長さを導き出すことができない児童や図形を分割して移動すると、辺の長さが分からなくなる児童が約2割程度いる。

『算数科』 模擬授業課題

(1) 日 時 令和6年10月〇日 第2校時(45分)

(2) 場 所 第5学年1組教室

(3) 学年・学級 第5学年1組(28名)

使用教科書 わくわく算数5年(啓林館)

(4) 単 元 名 面積

(5) 指導する児童の状況

【既習事項】

- ・垂直と平行の定義の理解やかき方とともに、平行四辺形や台形、ひし形の定義、性質等を学習し、対角線についても理解している。
- ・図形の面積は単位正方形(1cm^2 , 1m^2)の数を数えると求めることができることを理解し、正方形や長方形の面積の公式を導いている。
- ・正方形や二等辺三角形を真ん中で二つに切ると、形も大きさも同じ図形ができることを経験している。
- ・L字型、凹字型などの長方形を組み合わせた図形の面積を、長方形に分けたり、ないところをあとみたりして公式を使った面積の求め方を学んでいる。

【単元の目標】

- (1) 底辺と高さの意味や公式について理解し、三角形、平行四辺形、台形、ひし形などの面積を求めることができる。
(知識及び技能)
- (2) 既習の面積の求め方を基にして、三角形、平行四辺形、台形、ひし形などの構成要素や性質に着目し、面積の求め方を考えたり、求積方法をふり返って公式を導いたりすることができる。
(思考力、判断力、表現力等)
- (3) 面積を求めたり平面図形の見方・考え方を深めたりするとともに、生活や学習に活用しようとしていく。
(学びに向かう力、人間性等)

【評価規準】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
③ 必要な部分の長さを用いることで、三角形、平行四辺形、ひし形、台形の面積は計算によって求めることができることを理解している。	③ 三角形、平行四辺形、ひし形、台形の面積の求め方を、求積可能な図形の面積の求め方を基に考えている。	③ 求積可能な図形に帰着させて考えると面積を求めることができるというよさに気づき、三角形、平行四辺形、ひし形、台形などの面積を求めようとしている。
④ 三角形、平行四辺形、ひし形、台形の面積を公式を用いて求めることができる。	④ 見いだした求積方法や式表現を振り返り、簡潔かつ的確な表現を見いだしている。	④ 見いだした求積方法や式表現を振り返り、簡潔かつ的確な表現に高めようとしている。

【児童の状況】

- ・平面図形の面積については、長方形、正方形の面積を全員の児童が公式を使って求めることができる。
- ・単位となる面積を決めて、その何個分あるかを求めることで広さを数値化して表すことや公式化することを学習しているが、順序立てて説明できる児童は約7割程度である。
- ・ 1cm^2 をもとに、複合図形の面積を求める活動を通して、面積の保存性、等積変形について学習しているが、平行線の性質から辺の長さを導き出すことができない児童や図形を分割して移動すると、辺の長さが分からなくなる児童が約2割程度いる。

『算数科』 模擬授業課題

(1) 日 時 令和6年10月〇日 第2校時(45分)

(2) 場 所 第5学年1組教室

(3) 学年・学級 第5学年1組(28名)

使用教科書 わくわく算数5年(啓林館)

(4) 単 元 名 面積

(5) 指導する児童の状況

【既習事項】

- ・垂直と平行の定義の理解やかき方とともに、平行四辺形や台形、ひし形の定義、性質等を学習し、対角線についても理解している。
- ・図形の面積は単位正方形(1cm^2 , 1m^2)の数を数えると求めることができることを理解し、正方形や長方形の面積の公式を導いている。
- ・正方形や二等辺三角形を真ん中で二つに切ると、形も大きさも同じ図形ができることを経験している。
- ・L字型、凹字型などの長方形を組み合わせた図形の面積を、長方形に分けたり、ないところをあとみたりして公式を使った面積の求め方を学んでいる。

【単元の目標】

- (1) 底辺と高さの意味や公式について理解し、三角形、平行四辺形、台形、ひし形などの面積を求めることができる。
(知識及び技能)
- (2) 既習の面積の求め方を基にして、三角形、平行四辺形、台形、ひし形などの構成要素や性質に着目し、面積の求め方を考えたり、求積方法をふり返って公式を導いたりすることができる。
(思考力、判断力、表現力等)
- (3) 面積を求めたり平面図形の見方・考え方を深めたりするとともに、生活や学習に活用しようとしていく。
(学びに向かう力、人間性等)

【評価規準】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
⑤ 必要な部分の長さを用いることで、三角形、平行四辺形、ひし形、台形の面積は計算によって求めることができることを理解している。 ⑥ 三角形、平行四辺形、ひし形、台形の面積を公式を用いて求めることができる。	⑤ 三角形、平行四辺形、ひし形、台形の面積の求め方を、求積可能な図形の面積の求め方を基に考えている。 ⑥ 見いだした求積方法や式表現を振り返り、簡潔かつ的確な表現を見いだしている。	⑤ 求積可能な図形に帰着させて考えると面積を求めることができるというよさに気づき、三角形、平行四辺形、ひし形、台形などの面積を求めようとしている。 ⑥ 見いだした求積方法や式表現を振り返り、簡潔かつ的確な表現に高めようとしている。

【児童の状況】

- ・平面図形の面積については、長方形、正方形の面積を全員の児童が公式を使って求めることができる。
- ・単位となる面積を決めて、その何個分あるかを求めることで広さを数値化して表すことや公式化することを学習しているが、順序立てて説明できる児童は約7割程度である。
- ・ 1cm^2 をもとに、複合図形の面積を求める活動を通して、面積の保存性、等積変形について学習しているが、平行線の性質から辺の長さを導き出すことができない児童や図形を分割して移動すると、辺の長さが分からなくなる児童が約2割程度いる。

『算数科』 模擬授業課題

(1) 日 時 令和6年10月〇日 第2校時(45分)

(2) 場 所 第5学年1組教室

(3) 学年・学級 第5学年1組(28名)

使用教科書 わくわく算数5年(啓林館)

(4) 単 元 名 面積

(5) 指導する児童の状況

【既習事項】

- ・垂直と平行の定義の理解やかき方とともに、平行四辺形や台形、ひし形の定義、性質等を学習し、対角線についても理解している。
- ・図形の面積は単位正方形(1cm^2 , 1m^2)の数を数えると求めることができることを理解し、正方形や長方形の面積の公式を導いている。
- ・正方形や二等辺三角形を真ん中で二つに切ると、形も大きさも同じ図形ができることを経験している。
- ・L字型、凹字型などの長方形を組み合わせた図形の面積を、長方形に分けたり、ないところをあとみたりして公式を使った面積の求め方を学んでいる。

【単元の目標】

- (1) 底辺と高さの意味や公式について理解し、三角形、平行四辺形、台形、ひし形などの面積を求めることができる。
(知識及び技能)
- (2) 既習の面積の求め方を基にして、三角形、平行四辺形、台形、ひし形などの構成要素や性質に着目し、面積の求め方を考えたり、求積方法をふり返って公式を導いたりすることができる。
(思考力、判断力、表現力等)
- (3) 面積を求めたり平面図形の見方・考え方を深めたりするとともに、生活や学習に活用しようとしていく。
(学びに向かう力、人間性等)

【評価規準】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
⑦ 必要な部分の長さを用いることで、三角形、平行四辺形、ひし形、台形の面積は計算によって求めることができることを理解している。 ⑧ 三角形、平行四辺形、ひし形、台形の面積を公式を用いて求めることができる。	⑦ 三角形、平行四辺形、ひし形、台形の面積の求め方を、求積可能な図形の面積の求め方を基に考えている。 ⑧ 見いだした求積方法や式表現を振り返り、簡潔かつ的確な表現を見いだしている。	⑦ 求積可能な図形に帰着させて考えると面積を求めることができるというよさに気づき、三角形、平行四辺形、ひし形、台形などの面積を求めようとしている。 ⑧ 見いだした求積方法や式表現を振り返り、簡潔かつ的確な表現に高めようとしている。

【児童の状況】

- ・平面図形の面積については、長方形、正方形の面積を全員の児童が公式を使って求めることができる。
- ・単位となる面積を決めて、その何個分あるかを求めることで広さを数値化して表すことや公式化することを学習しているが、順序立てて説明できる児童は約7割程度である。
- ・ 1cm^2 をもとに、複合図形の面積を求める活動を通して、面積の保存性、等積変形について学習しているが、平行線の性質から辺の長さを導き出すことができない児童や図形を分割して移動すると、辺の長さが分からなくなる児童が約2割程度いる。